注３ **大学番号：私２４８**

［平成２６年度設置］

届出

計画の区分：学部の設置

注１

関西外国語大学　英語国際学部　英語国際学科

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人関西外国語大学
平成２７年5月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　　事務局

職名・氏名　　事務局長（ジムキョクチョウ）・吉崎（ヨシザキ）　誠（マコト）

電話番号　　０７２－８０５－２８０１

（夜間）　　０７２－８０５－２８０１

ＦＡＸ　　０７２－８０５－２８６２

ｅ－mail　　ymakoto@kansaigaidai.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。

例）　〇〇大学　△△学部
（□□学部（平成◇◇年度より変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は，表題を修正してください。

３　大学番号の欄については，平成２７年３月３０日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

英語国際学部

＜英語国際学科＞　ページ

１．　調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・　1

２．　授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

3．　施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・　10

4．　既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

5．　教員組織の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

6．　留意事項に対する履行状況等　・・・・・・・・・・　18

7．　その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19

8．　資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　23

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学　校　法　人　　　関　西　外　国　語　大　学

（２）大　学　名

関　西　外　国　語　大　学

（３）大学の位置

〒５７３－０１９５
大阪府枚方市穂谷１丁目－１０－１
（〒５７３－１００１　大阪府枚方市中宮東之町１６－１）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　　考
理　事　長	（タニモト　エイコ） 谷本　榮子 （平成２０年１０月）		
学　　長	（タニモト　ヨシタカ） 谷本　義高 （平成１９年４月）		
学　部　長	（エヒラ　エイイチ） 江平　英一 （平成２６年４月）		
学科長等			

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２５年度に報告済の内容　→（25）
平成２７年度に報告する内容　→（27）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

（５） 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ 様式は，平成２４年度開設の４年制の学科の場合（平成２７年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－① 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
英語国際学部 英語国際学科 学士（英語国際）	年 4	人 700	年次 人 100	人 3,000	

（注）・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度／区分	平成２６年度		平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 人 700 （ — ） ［ — ］		人 人 700 （ — ） ［ — ］		人 人 （ ） ［ ］		人 人 （ ） ［ ］		1.12倍	-倍	
志願者数	3,598 （ — ） ［ — ］	— （ — ） ［ — ］	3,380 （ — ） ［ — ］	— （ — ） ［ — ］	（ ） ［ ］	（ ） ［ ］	（ ） ［ ］	（ ） ［ ］			
受験者数	3,554 （ — ） ［ — ］	— （ — ） ［ — ］	3,331 （ — ） ［ — ］	— （ — ） ［ — ］	（ ） ［ ］	（ ） ［ ］	（ ） ［ ］	（ ） ［ ］			
合格者数	1,575 （ — ） ［ — ］	— （ — ） ［ — ］	1,766 （ — ） ［ — ］	— （ — ） ［ — ］	（ ） ［ ］	（ ） ［ ］	（ ） ［ ］	（ ） ［ ］			
B 入学者数	770 （ — ） ［ — ］	— （ — ） ［ — ］	801 （ — ） ［ — ］	— （ — ） ［ — ］	（ ） ［ ］	（ ） ［ ］	（ ） ［ ］	（ ） ［ ］			
入学定員超過率 B／A	1.10		1.14								

（注）・ 数字は，平成２７年５月１日現在の数字を記入してください。
・ （ ）内には，編入学の状況について<u>外数で</u>記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，(( ))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・ ［ ］内には，留学生の状況について<u>内数で</u>記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については，<u>**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**</u>してください。なお，計算の際は<u>小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入</u>してください。
・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，<u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。
・「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は，完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

＜英語国際学部　英語国際学科＞

学　年 ＼ 対象年度	平成２６年度		平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		備　　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[—] (—) 770	[—] (—) —	[—] (27) 828	[—] (—) —	[　] (　)	[　] (　)	[　]	[　]	
２年次			[—] (—) 710	[—] (—) —	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	
３年次					[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	
４年次							[　] (　)	[　] (　)	
計	[—] (—) 770		[—] (27) 1538		[　] (　)		[　] (　)		

（注）・　数字は，平成２７年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５） －④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳) 退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
平成26年度入学者	770 人	33 人	平成26年度	33 人	－ 人	他の教育機関への入学(8人)、経済的理由(7人)、学生個人の心身に関する事情(5人)、就学意欲の低下(4人)、就職(3人)、学力不足(2人)、海外留学(2人)、除籍(1人)、その他(1人)	4.3 %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度入学者	801 人	0 人	平成27年度	人	人		0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
			平成29年度	人	人		
平成29年度入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
合　計	1571 人	33 人					2.1 %

(注)・ 数字は，平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（％）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

2　授業科目の概要

＜英語国際学部　英語国際学科＞

（1） 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門必修科目	Advanced English Studies: Reading and Translation Ⅰ	1前・後	2			4	2	~~2~~ 3			兼6	教育効果を高めるため、専任教員の担当授業を追加(27)
	Advanced English Studies: Grammar in Use Ⅰ	1前・後	1			1	2	6			兼2	
	Advanced English Studies: Critical Writing Ⅰ	1前・後	2			3	3	9			兼~~1~~ ~~3~~ 1	平成27年4月からのストライキに伴い、専任教員の授業担当クラスを追加(27) ストライキに伴い、授業運営を効率的に行うため、兼任教員2名を授業担当者として追加(26)
	Advanced English Studies: Speaking and Listening	1前・後	2			3	~~2~~ 3	8			兼1	教育課程の充実を図るため、後期に授業クラスを追加開講(26)
	Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅰ	1前・後	1			1	1	6			兼2	
	Advanced English Studies: Reading and Translation Ⅱ	1後	2			4	2	~~2~~ 3			兼~~6~~ 5	兼任教員退職に伴い、当該科目を担当している兼任教員1名の担当授業クラスを追加。また教育効果を高めるため、専任教員の担当授業を追加(27)
	Advanced English Studies: Grammar in Use Ⅱ	1後	1			1	2	5			兼2	
	Advanced English Studies: Critical Writing Ⅱ	1後	2			3	2	9			兼~~1~~ 2	平成26年9月からのストライキに伴い、授業運営を効率的に行うため、兼任教員1名を授業担当者として追加(27)
	Advanced English Studies: Presentation, Discussion, and Debate	1後	2			3	2	8			兼1	
	Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅱ	1後	1			1	1	6			兼2	
	Global Issues A	2前・後	2					~~3~~ 2			兼3	専任教員1名、兼任教員1名の退職に伴い、兼任教員1名を新規採用し、不足分の授業クラスを補充(27)
	Global Issues B	2前・後	2					~~1~~			兼~~3~~ 4	就任辞退に伴い、兼任教員へ担当者変更(26)
専門選択科目	【国際コミュニケーション科目群】											
	基礎中国語	1前・後		2		~~3~~ 2	3	~~1~~ ~~2~~ 1			兼~~1~~ ~~2~~ 5	「基礎中国語」「中国語会話Ⅰ」「初級中国語」「中国語会話Ⅱ」 1)2名の就任辞退に伴い、専任教員1名および兼任教員1名を新規採用(26) 2)教育課程の充実を図るため、兼任教員1名を追加し、当該科目を担当している専任教員2名の担当授業クラスを追加(26)
	中国語会話Ⅰ	1前・後		2		2	3	2			兼~~3~~ 4	
	初級中国語	1後		2		~~3~~ 2	3	~~1~~ ~~2~~ 1			兼~~1~~ ~~2~~ 5	「基礎中国語」「中国語会話Ⅰ」「初級中国語」「中国語会話Ⅱ」「中級中国語」「検定中国語AおよびB」 1)専任教員1名育児休業 2)専任教員1名退職 3)中国への留学参加実績を勘案し教育効果を高めるため、中国語関係科目の授業担当を再調整 上記対応として、専任教員1名、兼任教員2名を新規採用し、兼任教員1名追加、専任教員1名および兼任教員4名の担当授業科目・授業クラスを再調整した。(27)
	中国語会話Ⅱ	1後		2		1	2	2			兼~~5~~ 6	
	中級中国語	2前・後		2		~~2~~ 1	1	1			兼~~3~~ 4 1	
	検定中国語A(リスニング)	2前・後		2			1				兼1	
	検定中国語B(文法)	2前・後		2			1				兼1	
	フランス語Ⅰ	1前・後		2		2	1					
	フランス語Ⅱ	1後		2		2	1					
	ドイツ語Ⅰ	1前・後		2							兼1	
	ドイツ語Ⅱ	1後		2							兼1	
	ことばとコミュニケーション	1前・後		4			1					
	ことばと心	2前・後		4		1						
	英語文学概論	2前・後		4							兼1	
	英語科教育法Ⅰ	2前・後		4		1						
	英語科教育法Ⅱ	3前		4		1						
	英語通訳演習	3・4前・後		2							兼2	
	英語翻訳演習	3・4前・後		2				1				
	英語コミュニケーションⅠA(ディベート)	2前		2		1					兼3	
	英語コミュニケーションⅡA(ディベート)	2後		2		1					兼3	
	英語コミュニケーションⅠB(プレゼンテーション)	2前		2				1			兼2	
	英語コミュニケーションⅡB(プレゼンテーション)	2後		2				1			兼2	
	メディア英語A(Print Media)	3・4前・後		2							兼1	
	メディア英語B(Broadcasting)	3・4前・後		2							兼1	
	実務英語A(エアライン)	3・4前・後		2							兼1	
	実務英語B(ツーリズム)	3・4前・後		2							兼1	
	実務英語C(ホテル)	3・4前・後		2							兼1	
	試験英語A(TOEFL)	2・3		2							※1	
	試験英語B(TOEIC)	2・3		2							※1	
	試験中国語A(HSK)	2・3		2							※1	
	試験中国語B(中国語検定)	2・3		2							※1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門選択科目	日本語学概論	1前・後		4		1					兼1	
	日本語学A（音韻・語彙）	2前・後		4		1	1					
	日本語学B（文法）	2前・後		4		1	1					
	日本語教育法Ⅰ	3前		4			1					
	日本語教育法Ⅱ	3後		4			1					
	日本語教育演習	4後		2			1					
	異文化と歴史	2前・後		4		3						
	地域研究A（英米）	2前・後		4							兼1	
	地域研究B（アジア・オセアニア）	2前		4		1						
	地域研究C（ヨーロッパ）	2後		4			1					
	日本学研究A（歴史・考古）	2前・後		4		1						
	日本学研究B（宗教・思想）	2前・後		4			1					
	日本学研究C（文化・生活）	2前・後		4		1	~~2~~ 1				兼1	昇格（准教授から教授）による変更（26）
	卒業研究Ⅰ	4前		2		19	~~8~~ 7	4				卒業研究Ⅰ・Ⅱについて 1）昇格（准教授から教授）による変更（26） 2）就任辞退に伴い、後任教員を補充予定（26）
	卒業研究Ⅱ	4後		2		19	~~8~~ 7	4				
	英語コミュニケーション研究A	2		4							※2	
	英語コミュニケーション研究B	2		4							※2	
	英語コミュニケーション研究C	2		4							※2	
	英語コミュニケーション研究D	2		4							※2	
	英語コミュニケーション研究E	2		2							※2	
	英語コミュニケーション研究F	2		2							※2	
	中国語研究A	2		4							※3	
	中国語研究B	2		4							※3	
	中国語研究C	2		4							※3	
	中国語研究D	2		4							※3	
	中国語研究E	2		2							※3	
	中国語研究F	2		2							※3	
	フランス語研究A	3・4		4							※4	
	フランス語研究B	3・4		4							※4	
	フランス語研究C	3・4		2							※4	
	フランス語研究D	3・4		2							※4	
	ドイツ語研究A	3・4		4							※4	
	ドイツ語研究B	3・4		4							※4	
	ドイツ語研究C	3・4		2							※4	
	ドイツ語研究D	3・4		2							※4	
	国際コミュニケーション研究A	3・4		4							※4	
	国際コミュニケーション研究B	3・4		4							※4	
	国際コミュニケーション研究C	3・4		4							※4	
	国際コミュニケーション研究D	3・4		4							※4	
	国際コミュニケーション研究E	3・4		2							※4	
	国際コミュニケーション研究F	3・4		2							※4	
	【グローバル・キャリア科目群】											
	国際関係論	1前・後		4			1	~~2~~ ~~1~~ 2			兼~~2~~	「国際関係論」「戦争と平和」「国際機構論」 就任辞退に伴い、平成27年4月に後任教員を採用予定（26） 平成26年9月から専任教員を新規採用（27）
	戦争と平和	2前・後		4				~~1~~ 1				
	国際政治史	2前・後		4			1					平成26年度の対応 1）専任教員1名の担当授業クラスを追加 2）兼担教員1名を追加（担当者変更） 3）兼任教員1名を新規採用
	外交政策	2前・後		4			1					
	国際開発論	2前・後		4				1				
	国際機構論	3・4前・後		4				~~1~~ 1				
	エアライン論	2前・後		4		1						
	ツーリズム	2前・後		4		1						
	ホテル学	2前・後		4							兼1	
	ホスピタリティ	3・4前・後		4							兼1	
	経済学概論	1前・後		4			1	1				
	経済分析	1前・後		4			1	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
専門選択科目	会計学A(簿記)	2前・後		4							兼1	
	会計学B(財務諸表)	2前・後		4			1					
	国際経済	2前		4				1				
	国際金融	2後		4			1					
	経営学概論	1前・後		4		1	1	1				
	マーケティング	2前・後		4				1				
	経営戦略	3・4前・後		4				1				
	国際経営	3・4後		4				1				
	ヒューマン・リソース・マネージメント	2・3前・後		4		1						
	グローバル・キャリア研究A	3・4		4							※4	
	グローバル・キャリア研究B	3・4		4							※4	
	グローバル・キャリア研究C	3・4		4							※4	
	グローバル・キャリア研究D	3・4		2							※4	
	グローバル・キャリア研究E	3・4		2							※4	
教養教育科目	フレッシュマン・セミナー	1前	2			15	~~7~~ ~~6~~ 7	4			兼1	専任教員2名が育児休業および健康上の理由により、専任教員へ担当者を変更(27) 1)昇格(准教授から教授)による変更(26) 2)就任辞退に伴い、兼担教員1名を追加(26)
	フレッシュマン・プロジェクト	1後	2			15	~~7~~ ~~6~~ 7	4			兼1	専任教員2名が育児休業および健康上の理由により、専任教員へ担当者を変更(27) 1)昇格(准教授から教授)による変更(26) 2)就任辞退に伴い、兼担教員1名を追加(26)
	数と論理	1前・後		2			1				兼~~1~~ 2	教育効果を高めるため、兼任教員1名を新規採用し、さらに充実を図った(27) 教育課程の充実を図るため、兼任教員1名による授業クラスを追加開講(26)
	データ分析	1前・後		2			1				兼~~1~~ 2	教育効果を高めるため、兼任教員1名を新規採用し、さらに充実を図った(27) 教育課程の充実を図るため、兼任教員1名による授業クラスを追加開講(26)
	哲学	2・3前・後		4							兼1	
	芸術史	2・3前・後		4		~~1~~					兼1	就任辞退に伴い、平成27年4月に後任教員を採用予定(26) 兼任教員1名を新規採用し、担当者を変更(27)
	文化人類学	2・3前・後		4							兼1	
	考古学	2・3前・後		4		1						
	憲法	2・3前・後		4		1					兼1	
	人権問題論	2・3前・後		4							兼1	
	環境科学	2・3前・後		4							兼1	
	スポーツ健康科学A	1・2前・後		2		1						
	スポーツ健康科学B	1・2前・後		2		1						
	スポーツ健康科学C	3・4前・後		2		1						
	スポーツ健康科学D	3・4前・後		2		1						
	総合科目A	2・3前・後		4							兼1	
	総合科目B	2・3後		4		1						
	総合科目C	2・3前・後		4							兼1	
	総合科目D	2・3休		4							兼2 集中	
	総合科目E	1・2前・後		2		1						
	総合科目F	1・2前・後		2		1						
	キャリア・デザイン研究A	2前		2		1						
	キャリア・デザイン研究B	2後		2		1						
	プロジェクト・スキル	2前・後		2		1					兼1	
	プロジェクト・セミナーⅠ	3・4前		2		4 5	~~1~~				兼1	昇格(准教授から教授)による変更(26)
	プロジェクト・セミナーⅡ	3・4後		2		4 5	~~1~~				兼1	昇格(准教授から教授)による変更(26)
	インターンシップA	2・3		2		1					※5	
	インターンシップB	2・3		4		1					※5	
	ボランティアA	2・3		2							※5	
	ボランティアB	2・3		4							※5	
	国際教養研究A	3・4		4							※4	
	国際教養研究B	3・4		4							※4	
	国際教養研究C	3・4		4							※4	
	国際教養研究D	3・4		2							※4	
	国際教養研究E	3・4		2							※4	
	国際教養研究F	1		2							※6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職に関する科目	教職概論	1前・後			2	1						
	教育基礎論	1前・後			2						兼~~1~~ 2	兼担教員1名が健康上の理由により、平成27年度より授業担当を辞退したため、兼任教員2名へ担当者を変更(27)
	教育心理学	1前・後			2						兼~~1~~ 2	教育効果を高めるため、兼任教員を新規採用し、担当者を追加(27)
	教育制度概論	2前・後			2						兼1	
	英語科教育法Ⅰ	2前・後			4	1						
	英語科教育法Ⅱ	3前			4	1						
	道徳教育の理論と実践	2前・後			2						兼1	
	特別活動の理論と実践	3前・後			2						兼~~1~~ 2	兼担教員1名が健康上の理由により、平成27年度より授業担当を辞退したため、兼任教員2名へ担当者を変更(27)
	教育方法の理論と実践	3前・後			4	1						
	生徒・進路指導論	3前・後			2						兼1	課程認定申請において、課程認定委員会の指摘により、科目名称を変更（26）
	教育相談	2前・後			2						兼1	
	教育実習Ⅰ	4通			5	1						
	教育実習Ⅱ	4通			3	1						
	教職実践演習(中・高)	4後			2	2						
図書館司書に関する科目	生涯学習概論	1前			2	1						
	図書館概論	1前			2	1						
	図書館制度・経営論	2前			2	1						
	図書館情報技術論	2前			2	1						
	図書館サービス概論	1前			2	1						
	情報サービス論	2前			2	1						
	児童サービス論	2後			2	1						
	情報サービス演習A	3後			1	1						
	情報サービス演習B	3後			1	1						
	図書館情報資源概論	2後			2	1						
	情報資源組織論	1後			2	1						
	情報資源組織演習A	2後			1	1						
	情報資源組織演習B	2後			1	1						
	図書館基礎特論	3前			1	1						
	図書館情報資源特論	3前			1	1						
	図書・図書館史	3休			1	1					集中	
司書教諭に関する科目	学校経営と学校図書館	3前			2						兼2 ｵﾑﾆﾊﾞｽ	
	学校図書館メディアの構成	2後			2						兼1	
	学習指導と学校図書館	3後			2						兼2 ｵﾑﾆﾊﾞｽ	
	読書と豊かな人間性	2前			2						兼1	
	情報メディアの活用	2後			2						兼1	
その他	情報処理演習	1通			2						兼~~5~~ 4	就任辞退に伴い、当該科目を担当している兼任教員4名の担当授業クラスを追加することで補充（26）

（注）・　認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２７年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
・　授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成○年○月　提出予定」と記入してください。）
・　「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２）　授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 14	科目 132	科目 36	科目 182	科目 14 [　0　]	科目 132 [　0　]	科目 36 [　0　]	科目 182 [　0　]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［　］内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）
・　資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

（３） 未開講科目　　　　　　　　　　　　該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

（４） 廃止科目　　　　　　　　　　　　該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　分		内容				備考
（１）校地等	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	「大学全体」 **学研都市キャンパス（内数）** 校舎敷地（専用）　90,310.33㎡ 運用場用地（専用）83,099.95㎡ 小計（専用）　173,410.28㎡ その他（専用）　2,753.75㎡ 合計（専用）　176,164.03㎡ **中宮キャンパス（内数）** 「共用」はすべて中宮キャンパスで、関西外国語大学短期大学部との共用 　中宮キャンパスにおいて駐車場増設に伴う校舎敷地、運動場用地の面積変更(26) (仮称)御殿山キャンパス用校地購入(27) 校地　50,285.83㎡ 運動場用地　6,720.99㎡
	校舎敷地	90,310.33 ㎡	216,586.97 ~~166,301.14~~ ~~165,110.86~~ ㎡	0 ㎡	306,897.30 ~~256,611.47~~ ~~255,421.19~~ ㎡	
	運動場用地	83,099.95 ㎡	64,330.24 ~~57,609.25~~ ~~58,799.53~~ ㎡	0 ㎡	147,430.19 ~~140,709.20~~ ~~141,899.48~~ ㎡	
	小　計	173,410.28 ㎡	280,917.21 ~~223,910.39~~ ㎡	0 ㎡	454,327.49 ~~397,320.67~~ ㎡	
	そ の 他	2,753.75 ㎡	10,502.19 ㎡	0 ㎡	13,255.94 ㎡	
	合　計	176,164.03 ㎡	291,419.40 ~~234,412.58~~ ㎡	0 ㎡	467,583.43 410,576.61 ㎡	

区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	備考
（２）校　舎	50,180.09 ㎡ （50,180.09 ㎡）	55,956.80 ~~57,509.46~~ ㎡ （44,930.45 ㎡）	5,990.18 ㎡ （5,990.18 ㎡）	112,127.07 ~~113,679.73~~ ㎡ （101,100.72 ㎡）	「大学全体」 **学研都市キャンパス（内数）** 専用　28,963.32 ㎡ （28,963.32 ㎡） 共用　0 ㎡ 共用する他の学校等の専用　0 ㎡ 　中宮キャンパス７号館完成後の登記により面積変更(26)

区　分	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
（３）教　室　等	162 ~~135~~ 室	129 ~~108~~ 室	10 室	15 室 （補助職員　0人）	14 室 （補助職員　0人）	「大学全体」 中宮キャンパス７号館新設に伴う増(26)

区　分	新設学部等の名称	室　数	備考
（４）専任教員研究室	英語国際学部　英語国際学科	72 室	学研都市キャンパス

（５）図書・設備	新設学部等の名称	図　書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標　本 点	備考
	英語国際学部 英語国際学科	159,456[32,586] (158,324[32,932]) ~~(153,319[32,427])~~ ~~(148,656[31,786])~~	266［108］ (266［108］) ~~(256［104］)~~	4,051［3,998］ (4,715［4,117］) ~~(3,551［3,498］)~~	8,205 (9,112) ~~(8,679)~~ ~~(7,965)~~	4,396 (4,594) ~~(4,549)~~ ~~(4,187)~~	0 (0)	学研都市キャンパス 　図書、学術雑誌、電子ジャーナル、視聴覚資料、機械･器具は、教育研究充実のため増加(26) 　図書、視聴覚資料、機械･器具は、教育研究充実のため増加(27)
	計	159,456[32,586] (158,324[32,932]) ~~(153,319[32,427])~~ ~~(148,656[31,786])~~	266［108］ (266［108］) ~~(256［104］)~~	4,051［3,998］ (4,715［4,117］) ~~(3,551［3,498］)~~	8,205 (9,112) ~~(8,679)~~ ~~(7,965)~~	4,396 (4,594) ~~(4,549)~~ ~~(4,187)~~	0 (0)	

区　分	面　積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
（６）図　書　館	16,078.34 ㎡	1,666 席	1,124,000 冊	「大学全体」

区　分	面　積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
（７）体　育　館	19,358.28 ㎡	テニスコート	ゴルフ練習場	

（８）経費の見積り及び維持方法の概要								備考
経費の見積り	区　分	開設年度	完成年度	区　分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体
	教員１人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	25,000千円	25,000千円	25,000千円	
	共同研究費等	2,500千円	2,500千円	設備購入費	― 千円	― 千円	― 千円	

（８）経費の見積り及び維持方法の概要	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
学生１人当り納付金	1,270 千円	1,020 千円	1,020 千円	1,020 千円	― 千円	― 千円
学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常経費補助金、雑収入等					

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「（5）図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２７年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（27）」を「備考」に赤字で記入してください。
　なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

４　既設大学等の状況

大 学 の 名 称	関 西 外 国 語 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
英語キャリア学部									
英語キャリア学科	4	－	－	－	学士（英語キャリア）	－	平成23年度	大阪府枚方市中宮東之町１６－１	平成25年4月より学生募集停止
英語キャリア学部									
英語キャリア学科	4	120	0	360	学士（英語キャリア）	1.11	平成25年度	大阪府枚方市中宮東之町１６－１	
英語キャリア学科 小学校教員コース	4	30	0	90	学士（教育）	1.15	平成25年度	同上	
外国語学部									
英米語学科	4	1,170	3年次 300	5,310	学士（英語学）	1.13	昭和41年度	大阪府枚方市中宮東之町１６－１	平成25年4月より入学定員変更 1,200人→1,170人（△30人）
スペイン語学科	4	250	3年次 25	1,050	学士（スペイン語学）	1.13	昭和41年度	同上	
国際言語学部									
国際言語コミュニケーション学科	4	－	－	－	学士（国際言語コミュニケーション学）	－	平成8年度	大阪府枚方市穂谷１－１０－１	平成26年4月（3年次編入学は平成28年4月）より学生募集停止
大学院									
外国語学研究科									
博士前期課程									
英語学専攻	2	15	－	30	修士（英語学）（英語教育）	0.19	昭和48年度	大阪府枚方市中宮東之町１６－１	
言語文化専攻	2	20	－	40	修士（言語文化）（日本語学）（英語ビジネス・コミュニケーション）	0.42	昭和51年度	同上	
博士後期課程									
英語学専攻	3	3	－	9	博士（英語学）（英語教育）	0.22	昭和54年度	同上	
言語文化専攻	3	3	－	9	博士（言語学）（言語文化）（日本語学）（文化人類学）（比較文化学）	0.55	昭和54年度	同上	

大 学 の 名 称	関西外国語大学短期大学部								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
英米語学科	2	800	－	1,600	短期大学士（英語学）	1.15	昭和28年度	大阪府枚方市中宮東之町１６－１	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２７年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。
・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。
・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。
・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成○○年より学生募集停止」と記入してください。

5　教員組織の状況

＜英語国際学部　英語国際学科＞

（１）　担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	大久保　恭子	平成26年4月	芸術史	兼任	講師	~~後任未定~~ 山本　友紀	平成27年4月	芸術史	就任辞退に伴い、平成27年4月に後任教員を採用予定(26) 教員を新規採用し、担当者を変更(27)
専任	教授	山口 久和	平成26年4月	基礎中国語 初級中国語 フレッシュマン・セミナー フレッシュマン・プロジェクト 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	講師	李　晶波	平成26年4月	基礎中国語 初級中国語	就任辞退に伴い、専任教員を新規採用(26)
					兼任	講師	珂月　彩香	平成26年4月	基礎中国語	就任辞退に伴い、兼任教員の担当授業を追加(26) ＜備考欄　後掲※1＞
					兼担	教授	片岡　修	平成26年4月	フレッシュマン・セミナー フレッシュマン・プロジェクト	就任辞退に伴い、兼担教員へ担当者変更(26)
専任	教授	ジョン リーガン John Reagan	平成26年4月	Advanced English Studies: Critical Writing Ⅰ	兼任	講師	ロッキー フェミア Rocky Femia	平成26年4月	Advanced English Studies: Critical Writing Ⅰ	ストライキに伴い、授業運営を効率的に行うため、兼任教員を授業担当者として追加(26)
					兼任	講師	リコ ロイ Rico Roy	平成26年4月	Advanced English Studies: Critical Writing Ⅰ	
					専任	講師	ティモシー　ウィリス Timothy Willis	平成26年4月	Advanced English Studies: Critical Writing Ⅰ	平成27年4月からのストライキに伴い、専任教員の授業担当クラスを追加(27)
				Advanced English Studies: Critical Writing Ⅱ	兼任	講師	ローレンス　ピッチャー Lawrence Pitcher	平成26年9月	Advanced English Studies: Critical Writing Ⅱ	平成26年9月からのストライキに伴い、兼任教員を授業担当者として追加(27)
				Advanced English Studies: Speaking and Listening Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅰ Advanced English Studies: Presentation, Discussion, and Debate Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	ジョン リーガン John Reagan	平成26年4月	Advanced English Studies: Critical Writing Ⅰ Advanced English Studies: Speaking and Listening Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅰ Advanced English Studies: Critical Writing Ⅱ Advanced English Studies: Presentation, Discussion, and Debate Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	
専任	准教授	鵜島　三壽	平成26年4月	日本学研究C （文化・生活） フレッシュマン・セミナー フレッシュマン・プロジェクト プロジェクト・セミナーⅠ プロジェクト・セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	鵜島　三壽	平成26年4月	日本学研究C （文化・生活） フレッシュマン・セミナー フレッシュマン・プロジェクト プロジェクト・セミナーⅠ プロジェクト・セミナーⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	准教授から教授に昇格(26)
専任	准教授	長友　俊一郎	平成26年4月	Advanced English Studies: Grammar in Use Ⅰ Advanced English Studies: Critical Writing Ⅰ Advanced English Studies: Grammar in Use Ⅱ ことばとコミュニケーション フレッシュマン・セミナー フレッシュマン・プロジェクト 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	准教授	長友　俊一郎	平成26年4月	Advanced English Studies: Grammar in Use Ⅰ Advanced English Studies: Critical Writing Ⅰ Advanced English Studies: Grammar in Use Ⅱ ことばとコミュニケーション フレッシュマン・セミナー フレッシュマン・プロジェクト 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	
									Advanced English Studies: Speaking and Listening	平成26年9月から、教育課程の充実を図るため、担当授業を追加(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	講師	岩波 由香里	平成26年4月	国際関係論	専任	講師	金 孝淑	平成26年4月	国際関係論	就任辞退に伴い、平成27年4月に後任教員を採用予定(26)
					兼担	教授	内田 智裕	平成26年4月	国際関係論	平成26年度の対応 1)専任教員1名の担当授業クラスを追加 2)兼担教員1名を追加 3)兼任教員1名を新規採用
					兼任	講師	矢嶋 光	平成26年4月	国際関係論	
				戦争と平和 国際機構論	専任	講師	後任未定 長谷川 晋	平成26年9月	国際関係論 戦争と平和 国際機構論	平成26年9月から、専任教員を新規採用(27)
専任	講師	コリン ジェイムズ Collin James	平成26年4月	Advanced English Studies: Grammar in Use Ⅰ Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅰ Advanced English Studies: Grammar in Use Ⅱ Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅱ	専任	講師	吉本 圭佑	平成26年4月	Advanced English Studies: Grammar in Use Ⅰ Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅰ Advanced English Studies: Grammar in Use Ⅱ Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅱ	就任辞退に伴い、専任教員を新規採用(26)
				Global Issues B	兼任	講師	ローレンス ピッチャー Lawrence Pitcher	平成27年4月	Global Issues B	就任辞退に伴い、兼任教員の担当授業を追加(26) ＜備考欄 後掲※2＞
兼担	講師	須川(島田)亜紀子	平成27年4月	日本学研究C （文化・生活）	兼任	講師	西原 麻里	平成27年4月	日本学研究C （文化・生活）	就任辞退に伴い、兼任教員へ担当者変更(26)
兼任	講師	フランク チェング Frank Cheang	平成27年4月	Global Issues A	兼任	講師	ローレンス ピッチャー Lawrence Pitcher	平成27年4月	Global Issues A Global Issues B	就任辞退に伴い、兼任教員を新規採用(26) ※2(再掲)
兼任	講師	由川 美音	平成26年4月	基礎中国語 初級中国語 中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ	兼任	講師	李 叶	平成26年4月	基礎中国語 初級中国語 中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ	就任辞退に伴い、兼任教員を新規採用(26)
兼任	講師	安食 智子	平成26年4月	情報処理演習	兼任	講師	石丸 美奈	平成26年4月	情報処理演習	就任辞退に伴い、当該科目を担当している兼任教員4名の担当授業クラスを追加することで補充(26)
					兼任	講師	羽山 左千子	平成26年4月	情報処理演習	
					兼任	講師	水口 知英子	平成26年4月	情報処理演習	
					兼任	講師	南 智子	平成26年4月	情報処理演習	
兼任	講師	王 彩香	平成27年4月	中級中国語	兼任	講師	珂月 彩香	平成26年4月	中級中国語 基礎中国語	氏名変更および担当授業追加による就任年月の変更(26) ※1(再掲)
兼任	講師	中辻 有里子	平成27年9月	総合科目D	兼任	講師	中辻 有里子	平成26年4月	数と論理 総合科目D	教育課程の充実を図るため、授業クラスを追加開講(26)
兼任	講師	山元 行博	平成28年4月	生徒指導論	兼任	講師	山元 行博	平成28年4月	生徒・進路指導論	課程認定申請において、課程認定委員会の指摘により、科目名称を変更(26)
					兼担	教授	末包 厚喜	平成26年4月	データ分析	教育課程の充実を図るため、授業クラスを追加開講(26)
					専任	講師	籠谷 香理	平成26年4月	基礎中国語 初級中国語	中国語科目について、教育課程の充実を図るため、専任教員2名の担当授業クラスを追加し、兼任教員2名を追加(26)
					専任	講師	趙 嵐	平成26年4月	中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ	
					兼任	講師	石 俊	平成26年4月	初級中国語	
専任	教授	中村 俊弘	平成26年4月	基礎中国語 初級中国語 中級中国語 フレッシュマン・セミナー フレッシュマン・プロジェクト 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	中村 俊弘	平成26年4月	基礎中国語 初級中国語	2年次の教育課程上の留学参加実績を勘案し、中国語科目について再調整を行った結果、中国語科目の種類を3科目から2科目へ変更(27)
									フレッシュマン・セミナー フレッシュマン・プロジェクト 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	米山 敬子	平成26年4月	日本語学概論 日本語学A（音韻・語彙） 日本語学B（文法） 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ フレッシュマン・セミナー フレッシュマン・プロジェクト	専任	教授	米山 敬子	平成26年4月	日本語学概論 日本語学A（音韻・語彙） 日本語学B（文法） 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	
					専任	准教授	吉田 泰謙	平成26年4月	フレッシュマン・セミナー フレッシュマン・プロジェクト	健康上の理由により、「フレッシュマン・セミナー」「フレッシュマン・プロジェクト」について、担当者を変更（27）
専任	准教授	相原 里美	平成26年4月	基礎中国語 初級中国語 フレッシュマン・セミナー フレッシュマン・プロジェクト 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	兼任	講師	張 淑琴	平成26年4月	基礎中国語	育児休業のため、担当授業科目を追加し、担当者を変更（27）
					兼任	講師	珂月 彩香	平成26年4月	基礎中国語 初級中国語	育児休業のため、担当授業科目（「初級中国語」）を追加し、担当者を変更（27）
					専任	教授	神田 修悦	平成26年4月	フレッシュマン・セミナー フレッシュマン・プロジェクト	育児休業のため、授業担当クラスを追加し、担当者を変更（27）
専任	准教授	韓 堅放	平成26年4月	経済分析 中国語会話Ⅰ	専任	准教授	中曽根 淑芳	平成26年4月	経済分析 中国語会話Ⅰ	氏名変更（27）
専任	講師	クリストファー スミス Christopher Smith	平成26年4月	Advanced English Studies: Critical Writing Ⅱ Advanced English Studies: Presentation, Discussion, and Debate Advanced English Studies: Critical Writing Ⅰ Advanced English Studies: Speaking and Listening Global Issues A	専任	講師	ジェイムズ ロジャース James Rogers	平成26年4月	Advanced English Studies: Critical Writing Ⅱ	平成26年11月Christopher Smith専任講師退職に伴い、専任教員4名の授業担当クラスを追加し、担当者を変更（27）
					専任	講師	トーマス リアドン Thomas Readon	平成26年4月		
					専任	講師	キンバリー ハガリチ Kimberly Hagerich	平成26年4月	Advanced English Studies: Presentation, Discussion, and Debate	
					専任	講師	ケント パターソン Kent Patterson	平成26年4月		
					専任	講師	ローリー パリッシュ Lori Parish	平成27年4月	Advanced English Studies: Critical Writing Ⅰ Advanced English Studies: Speaking and Listening Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅰ Advanced English Studies: Critical Writing Ⅱ Advanced English Studies: Presentation, Discussion, and Debate Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅱ	専任教員を新規採用（27） 2年次の教育課程上の留学参加実績を勘案し、英語科目について再調整を行った結果、担当授業科目を変更（27）
専任	講師	吉本 圭佑	平成26年4月	Advanced English Studies: Grammar in Use Ⅰ Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅰ Advanced English Studies: Grammar in Use Ⅱ Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅱ	専任	講師	吉本 圭佑	平成26年4月	Advanced English Studies: Grammar in Use Ⅰ Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅰ Advanced English Studies: Grammar in Use Ⅱ Advanced English Studies: English for Specific Purposes Ⅱ	
									Advanced English Studies: Reading and Translation Ⅰ Advanced English Studies: Reading and Translation Ⅱ	教育効果を高めるため、担当授業科目を追加（27）
専任	講師	李 晶波	平成26年4月	基礎中国語 初級中国語	兼任	講師	阿部 慎太郎	平成27年4月	基礎中国語 初級中国語	平成27年3月李晶波専任講師退職に伴い、教員を新規採用し、担当者を変更（27）
					兼任	講師	陸 麗君	平成27年4月	基礎中国語 初級中国語	平成27年3月李晶波専任講師退職に伴い、教員を新規採用し、担当者を変更（27）
					専任	教授	中村 俊弘	平成26年4月	初級中国語	平成27年3月李晶波専任講師退職に伴い、担当者を変更（27）
					専任	准教授	賈 卉	平成27年4月	中級中国語 検定中国語A（リスニング） 検定中国語B（文法）	専任教員を新規採用（27） 2年次の教育課程上の留学参加実績を勘案し、中国語科目について再調整を行った結果、担当授業科目を変更（27）

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏 名 （年 齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏 名 （年 齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	末包 厚喜	平成26年4月	データ分析	兼担	准教授	姜 京守	平成27年4月	データ分析	平成27年度から、より研究分野が近い教員へ変更(27)
兼任	講師	松村 美恵子	平成26年4月	Advanced English Studies: Reading and Translation Ⅰ	兼任	講師	中島 道光	平成27年4月	Advanced English Studies: Reading and Translation Ⅰ	平成27年3月松村美恵子兼任講師退職に伴い、教員を採用し、担当者を変更(27)
				Advanced English Studies: Reading and Translation Ⅱ	兼任	講師	美村 佳世	平成26年4月	Advanced English Studies: Reading and Translation Ⅱ	平成27年3月松村美恵子兼任講師退職に伴い、担当授業クラスを追加し、担当者を変更(27)
兼任	講師	美村 佳世	平成26年4月	Advanced English Studies: Reading and Translation Ⅰ	兼任	講師	寺脇 圭子	平成26年4月	Advanced English Studies: Reading and Translation Ⅰ	育児休業に伴い、担当授業クラスを追加し、担当者を変更(27)
				Advanced English Studies: Reading and Translation Ⅱ	兼任	講師	美村 佳世	平成26年4月	Advanced English Studies: Reading and Translation Ⅱ	
兼任	講師	ローレンス ピッチャー Lawrence Pitcher	平成26年9月	Global Issues A Global Issues B	兼任	講師	アイザック エレンフェルド Isaac Erenfeld	平成27年4月	Global Issues A Global Issues B	平成27年3月Lawrence Pitcher退職に伴い、教員を新規採用し、担当者を変更(27)
兼任	講師	洪(菊池) 玉芳	平成26年4月	中国語会話Ⅱ 中級中国語	兼任	講師	洪(菊池) 玉芳	平成26年4月	中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ 中級中国語	2年次の教育課程上の留学参加実績を勘案し、中国語科目について再調整を行った結果、担当授業科目を追加(27)
兼任	講師	陳 微	平成26年4月	中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ	兼任	講師	陳 微	平成26年4月	中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ	
					兼任	講師	洪(菊池) 玉芳	平成26年4月	中国語会話Ⅰ	健康上の理由により、担当授業クラス数を減じたため、担当授業クラスを追加し、担当者を変更(27)
					兼任	講師	沈 慧敏	平成27年4月	中国語会話Ⅱ	健康上の理由により、担当授業クラス数を減じたため、教員を追加(27)
兼任	講師	北條 秀司	平成27年4月	人権問題論	兼任	講師	明石 一朗	平成27年4月	人権問題論	平成27年3月北條秀司兼任講師退職に伴い、担当者を変更(27)
					兼任	講師	木原 雅子	平成27年4月	数と論理	教育効果を高めるため、教員を新規採用し、当該授業科目の開講クラス数を増(27)
					兼任	講師	吉野 衣美	平成27年4月	データ分析	教育効果を高めるため、教員を新規採用し、当該授業科目の開講クラス数を増(27)

＜共通＞

（１） 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏 名 （年 齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏 名 （年 齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	山口 満	平成26年4月	教育基礎論	兼任	講師	水本 徳明	平成27年4月	教育基礎論 特別活動の理論と実践	健康上の理由により、教員を採用し、担当者を変更(27)
				特別活動の理論と実践	兼任	講師	ムラット チャクル Murat Cakir	平成27年4月	教育基礎論	健康上の理由により、教員を採用し、担当者を変更(27)
					兼任	講師	小部 修	平成28年4月	特別活動の理論と実践	健康上の理由により、教員を追加し、担当者を変更(27)
					兼任	講師	林 幸範	平成27年4月	教育心理学	教育効果を高めるため、教員を採用し、担当者を追加(27)

（注）・　申請書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
　　なお，当該設置に係る学部，学科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈〇〇学部　△△学科〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，**「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢**を，**「変更状況」には平成２７年５月１日現在の満年齢**を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
　　なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２） 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成（前年度の状況）	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
25 (25)	17 (17)	20 (20)	0 (0)	62 (62)	24 [△1]	17 [0]	20 [0]	0 [0]	61 [△1]	65 歳	2 名	65 歳	2 名

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入し，
「変更状況」には，平成２７年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［　］内に設置時の計画
との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），
および，平成２７年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
教員数を記入してください。
・なお,職位等によって定年年齢が異なる場合には,職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
・「年齢構成（前年度の状況）」については，報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する
場合は記入不要ですので，「－」を記入してください。

（３） 専任教員辞任等の理由

番　号	職　位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	大久保　恭子	他大学での専任教員枠就任に伴い、本学での就任辞退（26）
2	教授	山口　久和	体調不良により、本人が就任辞退（26）
3	講師	岩波　由香里	他大学での専任教員枠就任に伴い、本学での就任辞退（26）
4	講師	コリン　ジェイムズ Collin James	他大学での専任教員枠就任に伴い、本学での就任辞退（26）
5	講師	クリストファー　スミス Christopher Smith	他大学での専任教員枠就任に伴い、退職（27）
4	講師	李　晶波	他大学での専任教員枠就任に伴い、退職（27）

（注）・　専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【平成26年度】
所見
1年次配当科目（26年度）の担当については、シラバスの内容およびカリキュラムの構成、主旨目的に沿った指導ができるよう学内にて慎重に審査を行ったうえで、各科目における教員の補充もしくは変更で対処することとした。
2年次（27年度）以降の科目担当については、学生にとって不利益な学修環境に陥らないよう、出来るだけ早急に慎重な審査を経て、科目担当教員の補充・調整を行うこととする。

学生への周知方法
当該教員の就任辞退・変更については、学修環境において学生に不利益が生じないよう履修登録までに担当教員の補充・変更を調整した。そのうえで、履修登録ガイダンスにおいて、学生に配布または公開される履修マニュアル、時間割表、コースシラバス等で履修登録不備やその他の混乱が生じないよう周知徹底を図った。

【平成27年度】
所見
学期途中に発生した教員の退職については、シラバスの内容およびカリキュラムの構成、主旨目的に沿った指導ができるよう学内にて慎重に審査を行い、学生に一切の不利益が生じないよう、成績・教材・授業の進捗状況など十分に引継ぎを行い、教員の補充を早急に対処した。平成27年度開始時には、各科目における教員の補充もしくは変更で対処することとした。

学生への周知方法
学期途中の教員変更については、大学職員が後任教員に同行し、学生が成績等に関して不安に感じることのないよう直接学生に説明した。また、平成27年度開始時においては、そのうえで、履修登録ガイダンスにおいて、学生に配布または公開される履修マニュアル、時間割表、コースシラバス等で履修登録不備やその他の混乱が生じないよう周知徹底を図った。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
設　置　時 （25年6月）	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況調　査　時 （26年5月）	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況調　査　時 （27年5月）	該当なし		該当なし	該当なし

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　定員管理に係る留意事項への履行状況は，指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

7　その他全般的事項

＜英語国際学部　英語国際学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	該当なし

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

大学全体の教育活動の質的向上・発展を図ることを目的として、平成20年度から「ファカルティ・デベロップメント(FD)委員会」を設置している。構成員は、委員長、教務部長、学長が委嘱する委員(外国人教員含む)、事務局長等の関係職員など、総勢37人で活動を展開している。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

年間5回程度開催している。委員は出席を義務付けられており、出張や学内会議等の公務による理由以外は、毎回ほぼ全員が出席している。

ｃ　委員会の審議事項等

・ 授業内容および方法の改善のための方策に関する事項
・ 教育内容および方法にかかる研究会、研修会、シンポジウム等の企画運営に関する事項
・ 学生による授業評価の実施、分析等に関する事項
・ 教員からの教育内容および方法の相談に関する事項
・ 教育内容および方法にかかる指導が必要な教員に関する事項
・ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動報告書等の作成に関する事項
・ 学長が諮問する事項

②　実施状況

ａ　実施内容

・ FD授業公開の実施
・ FD教員研修会の開催
・ FD授業評価の実施・分析
・ FD授業改善アンケートの実施
・ FDワークショップの開催
・ FD講演会の開催
・ FDカフェの開催
・ FD授業実践研究フォーラムの開催
・ FDシンポジウムの開催
・ 機関紙『FD Newsletter』の発行
・ 機関誌『高等教育研究論集』の刊行

b　実施方法

・　FD授業公開の実施(年間2回)

春・秋学期に各2ヵ月間の授業公開期間を設け、全学部全授業を対象とした教員の相互授業参観を行っている。授業者は、参観者からの建設的なコメント(フィードバック)を自分の授業に反映させる。同時に、参観者は、授業者の教授法を自らの授業の参考にしている。

・　FD教員研修会の開催(年間1回)

当該年度着任の教員を主な対象に、より魅力ある授業を目指し、授業経験豊富な教員の授業実践報告・議論を通じて、授業の質の向上を図っている。

・　FD授業評価の実施・分析(年間2回)

春・秋学期ともに、全開講科目の履修者を対象として実施している。FD授業評価は、各学期終了後に、担当教員本人へフィードバックし、次学期からの授業運営に生かすことで、授業の質の向上を図っている。FD授業評価結果および分析結果は、Web上で公開する予定である。

・　FD授業改善アンケートの実施(年間2回)

学生による授業評価を自らの授業改善にどのように活かしているかについて、年間2回のアンケートを実施している。アンケート分析結果は、機関紙『FD Newsletter』を通じて全教職員に周知している。

・　FDワークショップの開催(年間1回)

FD委員会が推薦する教員が、単独又は複数で「私の授業実践」や「私の授業改善の試み」といったテーマで発表し、その内容について出席者同士で意見交換する。

・　FD講演会の開催(年間1回)

学外の専門家や実務家を招き、外部から見た本学に求められる教育研究活動等、FDの形骸化を防ぎ、推進に寄与するテーマを設定、講演・質疑応答を通じて授業改善を図る。

・　FDカフェの開催(年間3回)

学内の教員が、教育・授業、学問・研究、あるいは人生観など自由に話し、参加者と懇談する。学生も参加可能で、教員と学生とが、専門的な事項について活発かつ自由に議論し、教員・学生協働で授業改善を図る。

・　FD授業実践研究フォーラムの開催(年間1回)

全学的に発表者を公募し、応募教員一人当たり30分の持ち時間で教育実践を中心とした高等教育に関するテーマについて学会形式で発表を行うもので、教員同士の知見・経験を共有し、教育力の向上を目指す。

・　FDシンポジウムの開催(年間1回)

ひとつの統一テーマのもとに、複数教員による特定の教育プログラムの実践例について報告会を行い、フロアとの質疑応答を通じて授業改善の方法を探る。テーマ及び発表者は公募する。

・　機関紙『FD Newsletter』の発行(年間4回)

FD委員会の活動方針・予定、教員の参加状況・コメント、各プログラムの実施報告等を掲載した機関紙を発行。全教職員に配付。紙面は日英両語で併記され、約200人の外国人教員とも情報の共有を図っている。

・　機関誌『高等教育研究論集』の刊行(年間1回程度)

本学教員の教育実践に係る論文等の投稿を募集し、FD委員会が査読を行い掲載の可否を判断する。併せて、FD委員会が企画・実施したFD活動記録も含めて編纂し、全教職員に配付する。

・　FD委員会所管外の活動

新任教員ガイダンス（教務委員会主催、年1回）、人権問題学習会（人権教育思想研究所主催、年1回）、新任教職員人権問題研修会（人権教育思想研究所主催、年1回）、オール英語による授業のための米国大学におけるFD研修（米国ウィスコンシン大学と共催、年1回）などを実施している。

このほか、FD委員を中心に外部の研究会等にも積極的に参加し、他大学の最新の取組状況や関係学会等における研究成果の吸収を図っている。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・　FD授業公開の実施

平成26年度は春学期(5月1日～6月30日)と秋学期(11月3日～12月24日)にそれぞれ2ヵ月間実施し、春学期は81人、秋学期は59人の授業参観の申込があった。

・　FD新任教員研修会の開催

平成26年度は、5月10日(土)午後に開催し、新任教員15人を含む43人の参加があった。

・　FD授業改善アンケートの実施

平成26年度は、春学期(5月12日～17日)と秋学期(9月29日～10月4日)の2回実施。春学期は 492人(全教員の86%)、秋学期は488人 (全教員の86%)からの回答(回収率)を得た。

・　FDワークショップの開催

平成26年度は、7月18日(金)に2名の教員によるワークショップを開催し、それぞれ「内容中心型 (content-based) 科目Integrated EnglishおよびAcademic Englishをベースとしたカリキュラムの歩みと展望」「教員をめざす学生の夢に寄り添って－教員採用試験対策11年を振り返って－」のテーマで41人の参加があった。

・　FD講演会の開催

平成26年度が第5回目となる。9月10日(水)に開催し、「いかにして授業改善へのモチベーションを高めるか－改善の成果を可視化する－」のテーマで、49人の参加があった。

・　FDカフェの開催

平成25年度に引き続き、平成26年度は、第4回目を6月26日(木)[22名出席]、第5回目を10月30日(木)[35名出席]、第6回目を12月18日(木)[96名出席]に行い、それぞれ「インド人のやさしさと透徹した思想について」、「外大生にふさわしい「日本学」を模索して」、「関西外大の明日に向かって」と題し、意見交換を行った。

・　FD授業実践研究フォーラムの開催

平成26年度が第4回目となるフォーラムを1月6日(火)に開催。発表者32人(うち外国人15人)から授業実践に関する取組みが報告され、91人の参加があった。

・　FDシンポジウムの開催

平成26年度が第7回となる。2月4日(水)に開催し、「PBLの教育効果について－同志社大学プロジェクト科目の事例を通して－」のテーマで講演を行い、パネルディスカッションも行った。出席者は44人であった。

・　機関紙『FD Newsletter』の発行

平成26年度は、6月号(第26号)、10月号(第27号)、1月号(第28号)、3月号(第29号)の4回発行。

・　機関誌『高等教育研究論集』の刊行

平成26年度は、7人の教育実践に係る論文投稿、第4回FD授業実践フォーラムのプロシーディングズや平成25年度のFD活動記録を掲載した第4号論集を刊行した。

・　FD委員会所管外の活動

＊　新任教員ガイダンス　平成27年3月31日(火)実施、117人出席。
＊　人権問題学習会　平成26年11月21日(金)実施、19人出席。
＊　新任教職員人権問題研修会　平成26年5月19日(月)・20日(火)実施、37人出席。
＊　米国ウィスコンシン大学におけるFD研修　平成27年2月11日(水)～2月22日(日)実施、7人参加。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

英語国際学部へ改組転換した後も継続的に組織的・全学的FD活動を実施しており、これらの取組みは今後も変わることなく、実質的・実践的なFD活動・授業改善に向けられている。年2回実施している学生による授業評価において、総合満足度が平成26年度春学期には70%・秋学期75%と高い比率を維持できている結果につながっている。

平成26年度取組事業として引き続き、教育改善や教員間の情報共有を主な目的としたFD活動に加えて、厳格な成績評価としてGPA制度の導入や科目・教員間のコーディネート体制の構築、単位の実質化等について検討を重ね、全学的な事業と位置付け取り組んでいく。

平成26年度英語国際学部の設置に併せて発足した学修コーディネーション・コミッティ委員会を基軸として専門必修科目の科目間・担当者間で意見、情報を交換できる機会、場を設けてきた。これら委員会の働きかけにより、効果的で体系的な授業運営だけでなく個々の学生への指導内容を充実させることが可能となり、学生の学力向上、留学準備・指導につなげられつつある。

英語国際学科では、これら教員によるFD活動のほか、授業開始直後から、クラスアドバイザー（専任教員）による学生の学修進捗度等を定期的に指導する体制を構築している。1年次配当科目の「フレッシュマンセミナー」「フレッシュマンプロジェクト」ではクラスアドバイザーが授業を担当し、毎週授業において直接指導することで、学修面や生活面の指導が同時に、かつ綿密に行えるように工夫が為されている。また、指導の中心的存在となるクラスアドバイザー26人が授業登録に係るオリエンテーションのほかに、当該学部の特色、学修分野の説明、学修方法等についてのガイダンスやクラス別懇談会の内容を教員間で意見交換、共有し、各教員の授業改善に役立てている。

1年次には、当該学部が原則として全員派遣を予定している１学期間の英語留学と１学期間の中国語留学の合計1年間の語学留学を前提としていることから、留学派遣に係る資格審査へ向けての学修指導、資格審査基準の設定・実施等、クラスアドバイザー、教務委員会、国際交流部との連携により、情報を共有しながら全学的・組織的にきめ細かい指導を行っていく。特に資格審査時に留学に求められる成績の基準を満たさなかった学生に対しては、秋学期中に特別の課題を継続的に課し、「フレッシュマンプロジェクト」授業を通して、秋学期終了後に第２次の資格基準を満たすよう指導体制を整えている。留学や指導に関して、特に配慮、対応が求められる学生、ケースについては、同授業の担当者会議において提議し、教職員全員が適切に対応できるよう密に連携をとっている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

年に2回、学期ごとに、全開講科目の履修者を対象とし、実施している。平成26年度は、春学期（7月10日～7月22日）、秋学期（12月18日～12月24日）に実施。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

学生による授業評価は、各学期終了後に集計結果を担当教員本人へフィードバックしている。また、授業評価の集計結果は、教員別・科目別にまとめて冊子とし、図書館に備え付けて、教職員および学生に公開している。

平成26年度に評価項目の見直しを行い、平成27年度より新項目で実施する。授業評価結果および授業改善アンケート結果をWeb上で公表予定。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
趣旨・目的は以下のとおり概ね計画どおりに達成されている。
a　学生の確保
・ 入学定員700人に対し、入学者は平成26年度770人(志願者3,598人)、平成27年度801人(志願者3,380人)と順調かつ適切に確保している。
b　教育課程・学修指導等
・ 各授業科目については、計画どおり開講し未開講科目や廃止科目はない。
・ 1年次配当科目の「フレッシュマンセミナー」「フレッシュマンプロジェクト」ではクラスアドバイザーが授業を担当し、学修面や生活面の指導を綿密に行っている。授業時間外においても学生を指導、支援、評価するシステムの一環として、「クラス別懇談会」を実施し、2年次に全学生が参加する語学留学に関わる審査結果の通知、留学にかかわる課題、日々の学習方法、態度等について個別に指導を行った。
・ 担当者会議を開催し、より体系的な指導内容、教育方針等について意思統一を図り、よりきめ細かく拡充された指導・支援体制を確立させた。これらシステム、体制は平成27年度入学者へも継続して適用し、カリキュラム、留学等に対する学生の学力、満足度を向上させるべく関連教職員で継続的に分析、検討、改善を重ねていく予定である。
c　教育プログラムとしての語学留学（2年次）
・ 平成27年度は、2年次の学生が語学留学に参加し、1年次に修得した語学力をより実践的に高め、異文化理解力、国際理解力を強化する時期となっている。本学部では、2年次を留学だけのカリキュラムと捉えられないよう留学から帰国した学生対象のフォローアップ授業を別途開講し、様々な学生の希望、進路、キャリア選択により幅広く対応できるよう取り組む予定である。
・ 2年次からの語学留学へ向け、1年次に留学資格審査を行い、合格した学生については2年次春から英語圏および中国語圏への留学へ参加している。

平成27年度2年次春派遣	英語圏留学　305人	中国語圏留学　233人	春学期合計538人	留学中
2年次秋派遣(予定)	英語圏留学　329人	中国語圏留学　186人	秋学期合計515人	派遣予定

d　学習到達目標および質保証
・ 英語国際学部全学生に学内で実施されるTOEFL(PBT)の受験を課し、入学時と平成26年12月における得点の推移等をクラスアドバイザー全員で情報を共有し、学生指導にも利用している。入学時には平均403点が12月には430点となっており、30点近く得点を上げていることから、英語国際学部における効果的な指導体制は今後も量、質ともに維持向上を図っていく。

②　自己点検・評価報告書
a　公表（予定）時期

・平成28年6月末日　公表予定

b　公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成28年6月末を予定）

③　認証評価を受ける計画

・次回の認証評価は、平成31年度に評価機関の評価を受審予定。なお、前回の認証評価は、平成24年度に評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受審し、適合認定を受けた。認定期間は、平成25年4月1日から平成32年3月31日までの7年間である。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4） 情報公表に関する事項

a　ホームページに公表の有無　（ ㊒ ・ 無 ）

b　公表時期（未公表の場合は予定時期）　（ 平成　27年　6月　末日 ）

資料一覧

資料１　関西外国語大学ファカルティ・ディベロプメント（FD）委員会規程